



2023年 G1大阪杯

全頭診断書



2023年4月2日

血統馬券の参考書

熊悶

・キラアビリティ

血統評価:B

適性評価:C

父:ディープインパクト

母父:コンガリー(米ブラッシンググループ系)

祖母父:米APインディ系

母父コンガリーは米国のダートG1を5勝。
3歳夏のG1初制覇から、5歳秋のG1優勝まで、
米国馬としては晩成傾向のある競走馬でございました。

母のキラグレイシスは、2歳牝馬G1ウイナーで、
本馬がG1ホープフル優勝は、母の影響が大きいと思われます。

内回りコースの2000mでG1を勝っておりますが、
前有利馬場と差し不利な展開の恩恵もあったもので、
本馬の戦歴から判断すれば、本質的には直線が長い
2000m以下に本領があるように思われます。

ただし、「ディープ×米国型×米国型」と言う
配合を考慮に入れますと、一応の押さえは必要かと。

・ジェラルディーナ

血統評価:C

適性評価:C

父:モーリス(欧ロベルト系)

母父:ディープインパクト

祖母父:欧ダンチヒ系

非常に優秀なドナブリーニ牝系の出身馬。

ただ、3歳で完成する牝系であり、古馬になると齢を重ねるごとに重賞成績が低下していく傾向がございます。

また、阪神2000mのファミリー成績は絶望的で、人気以上の着順で走れた馬すらおりません。

本馬自身も2000mに勝ち星がなく、非根幹距離に特化した適性の持ち主である疑いがございますな。

父にロベルト系種牡馬を持つ馬に相性が悪いレースで、ウインマリリン、エフフォーリアと言ったG1実績馬も大阪杯では惨敗しておりました。

また、モーリス産駒も阪神2000mでは1勝クラス以上のレースに勝ち星がなく、2勝クラス以上で馬券に絡んだ馬は出ておりません。

・ジャックドール

血統評価:D

適性評価:C

父:モーリス(欧ロベルト系)

母父:アンブライドルドソング(米ファピアノ系/ミスプロ系)

祖母父:欧ニジンスキー系

父にロベルト系種牡馬を持つ馬に相性が悪いレース。ウインマリリン、エフフォーリアと言ったG1実績馬も大阪杯では惨敗しておりました。

また、モーリス産駒も阪神2000mでは1勝クラス以上のレースに勝ち星がなく、2勝クラス以上で馬券に絡んだ馬は出ておりません。

札幌の2000mでG2を勝ちましたが、
前有利馬場に恵まれたところもあり、
上り3F順位は8位で、これは大阪杯での評価対象外。

ただ、牝系ファミリーは阪神、小倉の小回り2000mが得意で
本馬自身も未勝利戦で2着馬に9馬身の差勝ちを収めており、
血統の字面以上のコース適性を持っている可能性は否定できません。

とは言えG1で、他に血統・適性ともに優れた存在があり、
人気程の信頼感を持たないと言うのが拙者の診断でございます。

・スターズオンアース

血統評価：B

適性評価：C

父：ドゥラメンテ(欧キングマンボ系)

母父：米スマートストライク(米ミスプロ系)

祖母父：独モンズン(欧ブランドフォード系)

牝系ファミリーは1800m巧者の非根幹距離タイプで、
母の半妹ソウルスターリングも、古馬になってから
馬券に絡んだのは1800m重賞のみでした。

本馬の場合は、当コースのG1秋華賞で
3着に好走しましたが、持続力を活かすタイプではなく、
直線のトップスピードが売りの「主流条件型」。

好位から競馬すると脚が溜まらずに
姉妹が甘くなる所があり、条件戦でも負けるレベル。
後方待機型に厳しいレースである事を考えますと、
少なくとも勝ち切るイメージは湧いてこない
と言うのが拙者の診断結果でございます。

・ダノンザキッド

血統評価:C

適性評価:特注

父:ジャスタウェイ(Pサンデー系)

母父:欧ダンシリ(欧デインヒル系/ダンチヒ系)

祖母父:欧ダイシス(欧エタン系/ネイティヴダンサー系)

ダンチヒ系×ネイティヴダンサー系の配合は
先行しても最後まで減速しない持続力を与える
母系の配合のひとつで、半兄のミッキーブリランテも
持続力を活かす競馬で頻繁に穴をあけておりました。

本馬自身、G1ホープフルSでは好位からの競馬で
上り最速勝ちを収めております。

また、牝系ファミリーの内回り、小回りの2000m実績は
【5・4・3・8/20】で、勝率25%(単回率82%)
複勝率60%(複回率243%)と非常に期待値が高く、
特に阪神2000mの複勝率は71.4%で適性ダントツです。

ただ、極端に上り時計の掛かるハイペースや道悪では
脆さを見せる一族でもあり、本馬も上り時計が37秒を要した
皐月賞では1人気を裏切ったのブービー負けを喫しております。

今年はメンバー的に、ハイペースの消耗戦にはなりにくいでしょう。

あとは天候と馬場状態次第になりますが、
天気予報では、今週の阪神競馬場は晴れの見込み。

良馬場での開催であれば、
最大の警戒が必要な存在だと考えております。

・ノースザワールド

血統評価:A

適性評価:D

内回りコースの2000mで馬券絡み無し。
重賞では馬券絡みが無く、ここはいかにも家賃が高い印象。

・ノースブリッジ

血統評価:C

適性評価:C

父:モーリス(欧ロベルト系)

母父:アドマイヤムーン(欧フォーティナイナー系)

祖母父:欧ニジンスキー系

6勝中3勝が雨馬場でのもので、
前走のAJCC優勝も重めの路盤でのもの。
相手も弱メンでございましたな。

また、好走した重賞は全て非根幹距離のもので、
この辺りは母父アドマイヤムーンの現役時代に
よく似た傾向でございますな(スケールは天地の差ですが)

血統構成、能力から推し材料に乏しい1頭。

・ヒシイグアス

血統評価:A

適性評価:B

父:ハーツクライ(Tサンデー系)
母父:バーンステイン(米ストームバード系)
祖母父:欧ブラッシンググルーム系

主流サンデー系×米国型ND系の配合は大阪杯ニックス配合。

5歳でOP初勝利を飾った晩成タイプ。
中山の内回りコース重賞で3勝(全て上り3位以内)を挙げており、
内回り適性は確かなものと申せます。

非根幹距離の方が合っている可能性があるのは
不安材料ではありますが・・・

大阪杯はG1未勝利だった馬が3勝している
「G1初戴冠率50%」のレースでございます。

昨年は、休み明けで4着に敗れましたが、
本馬は叩き良化型で、休み明け2戦目・3戦目が狙い時。
叩き2走目の今年は、G1初戴冠の可能性十分。

・ヒンドゥタイムズ

血統評価:B
適性評価:C+

父:ハービンジャー(欧デインヒル系/ダンチヒ系)
母父:ディーピンパクト
祖母父:欧ヌレイエフ(ノーザンダンサー系)

4度馬券に絡んだ重賞は全て小回りコースのもの。
当コースの新馬戦は先行して上り最速で圧勝。
2勝クラスでも上り最速で完勝。

小回り2000mに対する適性は十分ですが
ここはG1なので、能力的に足りない可能性が高く、
押えの押さえ程度の評価でございます。

・ポタジェ

血統評価:S

適性評価:A

父:ディーピンパクト

母父:オーサムアゲイン(米ヴァイスリージェント系)

祖母父:米ボールドルーラー系

母系は持続力に特化した配合で、
当コースは本馬にとって最適の舞台。
昨年の優勝馬ですが、近走はゲートが良くなく、
後方からの競馬では切れる脚が無いので絶望的。

当日のパドック気配や返し馬の状態を見て
印の軽重を決めた方が良いかも知れません。

・マテンロウレオ

血統評価:B

適性評価:B

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

母父:ブライアンズタイム(欧ロベルト系)

祖母父:ダンチヒ(欧ノーザンダンサー系)

曾祖母父:セクレタリアト(米ボールドルーラー系)

母父はロベルト系ですが、

母系の土台が持続力に優れた配合で、
戦歴からは、その影響が強く出ている印象ですな。

当コースは2戦2勝の舞台で、
前走の京都記念2着も阪神内回りコースでございました。

あとは能力が足りるかどうか？

・マリアエレナ

血統評価：B
適性評価：B+

父：クロフネ(米ヴァイスリージェント系)
母父：ディーピンパクト
祖母父：キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

小回りの2000mが得意で、小倉記念では
先行して上り2位の持続力を発揮し、
今回上位人気に支持されそうなジェラルディーナに
5馬身以上の差を付けて圧勝。
この時の指数は、G1でも通用するレベルでした。

坂のある阪神では、少しパフォーマンスが落ちますが、
近親のワグネリアンは当レース3着馬であり、
何か一つ恵まれれば、馬券圏内もありそうですな。

・モズベッコ

血統評価：B
適性評価：C

父:ディープブリランテ(ディープ系)
母父:ハーランズホリデー(米ストームバード系)
祖母父:米ヘイロー系

重馬場開催の21年2着馬。
上り時計が掛かるレースが得意な追込み馬。
軽い馬場ではスピード不足で、追込みはまず決まりませんな。

・ラーグルフ

血統評価:C
適性評価:C

父:モーリス(欧ロベルト系)
母父:ファルブラヴ(欧フェアリーキング系)
祖母父:シンボリクリスエス(欧ロベルト系)

直線が長いコースの方が圧倒的にパフォーマンスが高く、
内回りコースで馬券に絡むときは、馬場傾向が味方した時。

今回も恵まれれば3着くらいはあるかも知れませんが、
積極的に狙いたい程の材料はなく魅力も感じません。

・ワンダフルタウン

血統評価:C
適性評価:C

父:ルーラーシップ(欧キングマンボ系)
母父:ディープインパクト
祖母父:独アカテナンゴ(欧ハンプトン系)

早熟家系で既に終わった感満載。
重賞勝ちも、持続力を活かした勝利ではなく、
差し有利馬場に恵まれた差し切り勝ちでした。

ルーラーシップとディープの配合は
当レース2着のキセキと同じですが、
奇跡の牝系は持続力型の牝系で、
キセキ自身が先行して強烈な持続力を
活かす競馬で強さを発揮したタイプでした。

血統の字面が似ているだけで、
本質的には全くの別物だと考えております。

・ヴェルトライゼンテ

血統評価:C
適性評価:注

父:ドリームジャーニー(ステイゴールド系)
母父:独アカテナンゴ(欧ハンプトン系)
祖母父:欧ノーザンダンサー系

手前の代え方、実績共にサウスポー。

ですが、地力の高さで、右回りのG1ホープフルSでも
好位から上り最速で連対しているように、
コースや距離に関わらず力を出せる万能タイプ。
軽い扱いは出来ませぬな。